

「性犯罪」被害に遭わないために

性犯罪の被害者にならないために

強制わいせつ等の性犯罪が多発しています。

そのなかでも、「音楽を聴きながら」、「電話をかけながら」歩いているときに性犯罪の被害に遭う人が増えています。



被害に遭わないために、周囲に注意を払い、事件を未然に防ぎましょう。

性犯罪被害に遭わないための5箇条

1 ひとりで暗い夜道を歩かない

2 「電話をかけながら」、「音楽を聴きながら」歩かない

周囲に注意が向かなくなり、自分の後をつけている人などに気がつかなくなり、事件の被害に遭いやすくなるのでやめましょう。

3 エレベーターで知らない男性と2人きりにならない

知らない男性全てが犯人になるわけではありませんが、被害に遭いやすい場所には近づかないようにしましょう。



4 家の中に入るまで気を抜かない

あなたが部屋に入る瞬間を狙っている犯人もいます。家の中に入り、玄関の鍵を掛けるまで気を抜かないようにしましょう。

5 家の中に入ったら鍵を掛け、知らない人が来ても家に入れない

家に入ったら、ドアの鍵とドアチェーンを掛け、水道やガス等の点検業者を名乗る人が来ても、管理会社等に確認して、確認が取れるまで家の中に入れないようにしましょう。



それでも被害に遭ってしまったら...



すぐに、110番通報しましょう。
「恥ずかしいから」と思い、警察に通報しないでいた人が再び、同じ犯人から同じような被害を受けている事例があります。

110番通報をしたら、「いつ」「どこで(できれば目標物も)」「何があったのか」「犯人の特徴は(人数は? 服装は? 凶器を持ってましたか? 逃走の方法は?)」を覚えている範囲で説明してください。

現場を動かさずに警察官が到着するのを待ってください。
被害現場には見えない重要な証拠がありますので、現場の物には触らずに警察官が到着するのを待ってください。